

国際ロータリー第2620地区

御殿場ロータリークラブ

Rotary



週報

<https://www.gotemba-rc.gr.jp/>



御殿場
ロータリークラブ
モバイルサイト

第2593回 例会プログラム

- 例 会 場 / 名鉄菜館
- 開 会 点 鐘 / 18:00
- ロータリーソング / 我等の生業
- 内 容 / 新年会～年男大いに語る～
親睦活動委員会



会 長 挨拶

勝 又 博 文



新年明けましておめでとうございます。クラブ会員の皆様には、お健やかに令和2年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は災害が多発した年でしたが、今年は何とか平穏な一年であってほしいと願っております。平成は激動の時代でありました。国内外を問わず、大きな出来事が多発した時代であったと思います。デジタル技術革命が進行し、各産業を大きく変化させてきております。これからも目まぐるしい変化が予想されます。

また、世界経済は、米中貿易摩擦の激化などを背景に、先行き不透明感が一段と強まっております。2020年は、1月に台湾の総統選挙、11月に米大統領選を控えております。緊迫した東アジア情勢と米国第一主義や保護貿易主義がもたらすマイナスの影響が、さらに世界経済全般に波及し、経済活動の減速感が強まる可能性もあるといえます。

国内においても、領土問題・デフレ経済からの脱却・社会保障費と医療費の増大・少子高齢化・人手不足・低

い生産性・地方の疲弊など、構造的課題が山積しており、明るい未来を拓くために英知を結集して解決していかねばなりません。

こうした中で、今年はいよいよ、東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。1964年の東京五輪から半世紀を経て、日本に再びやってきます。世界に向かって日本の現在の姿や考えを知ってもらう絶好の機会です。また、子供たちが大きな感動と未来に向かって大きな夢を見ることが出来る機会でもあります。是非とも素晴らしい大会になってほしいと願っております。

下半期は、本日を含めて24回の例会となります。今年度は「ロータリーライフを楽しもう」をテーマに掲げて活動してきておりますが、下半期には、「クラブビジョンの策定」「会員の増強」、2019年の手続要覧の改正に伴う「クラブ細則の改正」と大きな課題が残っております。私たち理事・役員一同は、これら課題を何とか解決し、さらに良いクラブを作るために全力で取り組む覚悟でおります。クラブ会員の皆様のご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。

本年が、皆様一人ひとりにとって、実り多き素晴らしい一年となりますよう、怯(ひる)むことなく共に頑張ってください。



会長挨拶用
QRコード



司会
長田 崇君



ソングリーダー
鈴木善明君



出席報告
大胡田明寿君



皆出席
勝又 誠君



会員誕生日
石川又英君



ROTARY CONNECTS
THE WORLD
ロータリーは世界をつなぐ

次 回
1月19日の
例 会

★富士市交流プラザ
★10:00点鐘
★Intercity Meeting
全員

職業奉仕とISO26000



第2620地区 2011-12年度
パストガバナー

積 惟 貞 様
(沼津RC)

ロータリーの第2世紀を迎えるに当たり、RIはその戦略的計画として「例会」より「奉仕の実践」を重視する方向に大きく舵を取り、その奉仕のあり方についても職業奉仕よりも社会奉仕、国際奉仕、新世代奉仕に重点がシフトした感があります。このような傾向の中、2011-12年度カルヤン・パネルジーRIパスト会長は、なくなりかけたRIの職業奉仕委員会の委員長に日本の黒田RI理事（当時）を任命し、ロータリーにとっての職業奉仕を強く推進実行するように求めました。そして具体的にロータリーの組織の中にISO26000を適応可能か検討するように命じました。

ISO26000とは、2010年11月1日 ISO（国際標準化機構）が発行した国際規格“Guidance on social responsibility”（社会的責任に関する手引き）であります。昨今、企業の社会的責任CSR（Corporate social responsibility）として重視されてきましたが、ISO26000は企業にとどまらず政府、学校などを含めたさまざまな組織を対象としています。

あらゆる問題がグローバル化している現在、資源、エネルギー、食料などの需給問題、環境問題、人権問題、貧富の格差など人類社会の維持可能性を脅か

す諸課題が顕在化しています。組織は社会的・経済的・地理的状況を問わず、このような課題の加害者にも被害者にもなり得ることは明白です。これは1970年代から普及した市場万能主義、株主至上主義の弊害に対する反省から生じたものとも言えるでしょう。公益資本主義やステイクホルダー資本主義といわれる考え方が起こるのも当然かもしれません。ISO26000がロータリアンの事業所やクラブの行動規範として参考となることは明らかで、カルヤン・パネルジーパスト会長の卓見であると思います。

ISO26000は「説明責任」「透明性」「倫理的な行動」「ステイクホルダーの利害の尊重」「法の支配の尊重」「国際行動規範の尊重」「人権の尊重」をその7原則として挙げ、行動規範として尊重することを求めています。更に中核主題として「組織統治」「人権」「労働慣行」「環境」「公正な事業慣行」「消費者課題」「コミュニティへの参加およびコミュニティの発展」と関連する課題や具体的なアクションプランを挙げ、社会的責任の理解や組織への統合、信頼性やパフォーマンスの向上などを実践していく上での参考にすることを意図しています。従来のISOとは異なり認証を目的とした企画では有りませんので、各組織が主体性をもって社会的責任を果たす為のガイダンスと言えます。

RIが此処で立ち止まってロータリアンの資質向上や職業奉仕を重視するならば歓迎すべきであり、職業奉仕の実践にISO26000がよき具体的指針になるであろうと思慮します。ところでCSR（企業の社会的責任）になる言葉を最初に経済界に提唱したのは、ロータリー職業奉仕活動概念の基本を作り上げたフレデリック・シェルドンだったと言う事実を肝に命ずるべきではないでしょうか。

1/9の出席報告

会員数	出席計算に用いた会員数	出席者数	暫定出席率	前々回の確定出席率
54名	50名	48名	96%	100%

欠席者(2名) 勝又 淳君・勝間田太住君

※やむを得ず欠席される方は、午前9時50分までにご連絡下さい。

12/12のメーキャップ

12月13日 裾野 RC 井上 元君
12月17日 大阪 E クラブ 齊藤礼志君
12月19日 北海道 E クラブ 神谷高義君

1/9のスマイル

古希のお祝いをありがとうございました。
望月 茂君